



# ほんものを たべよう

提出日	3/ 3	火	水	木	金	6
配達日	3/ 10	火	水	木	金	13
翌々週分配達日	3/ 17	火	水	木	金	20

## オルターの提案

- 本当に安全な食べものを手渡すために
- 「だれが・どこで・どのようにつくったか」の情報を日本一公開します。
  - 「国産」「無農薬」にこだわり、日本の伝統食を守ります。
  - 原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、食品添加物などを徹底的に追放します。
  - プラスチック容器・レトルト食品を追放します。

Alter Weekly Order Catalogue

2026.3月2週号

## 果物

# 長崎さんの遺志を引き継ぎ 自然農法で柑橘栽培

鹿児島で多くの若者が育っています

かささ農藝舎

はまのうえん

かやのひめ自然農園

文責 橋口 淳子 (オルター企画部)  
監修 西川 榮郎 (オルター代表)

## 自然農法新規就農者を支援し、 後継者へ引き継ぐ

オルターヘカボスをはじめ、グレープフルーツやシークワーサーなど柑橘を出荷して下さった長崎大海さん(自然農園ながさき・鹿児島県南さつま市)が2025年8月14日ご逝去されました。2001年就農時は有機農業を志し、オルターカタログで紹介した2008年頃はばかし肥料を使用した自然農業(食べもの百科①P63参照)、その後耕さず肥料や農薬を用いず、草や虫を敵としない自然農法で柑橘を栽培しました。

自然環境に配慮し、動物とも共存することが日本の未来や地球のために大切と説いた長崎さんを慕って、農園に集まった若者たちが栽培方法を教わり、長崎さんの遺志を引き継ぎ育っています。

## どんぐりの木を植えて食害対策

### ◎窪園 雅敬さん

(かささ農藝舎・鹿児島県南さつま市笠沙町)

17歳の頃に地元薩摩川内市を出て、関東で音楽関係の仕事や農業のアルバイトなどを経て、2011年の原発事故がきっかけで三重県熊野市に移住し、7年間米と大豆を栽培する農業の経験を積みました。無農薬で柑橘を栽培したいと考えていた頃、帰省した際に自然農法で柑橘を育てている長崎さんのことを知り、訪ねたことが縁で5年間長崎さんの指導を受けながら栽培の手伝いをし、独立しました。自身で栽培を始めるため土地を開墾した時には長崎さんと一緒に柑橘の木や獣害対策のどんぐりの木を植えました。電柵でイノシシを退治するのではなく、エサとなるどんぐりの木を植えることで食害対策をするよう教わりました。

2021年から家族と共にグレープフルーツやはっさくなどを自然農法で育てています。将来は柑橘や柑橘加工品と息子さんが作る手作りパンを売る店も持ちたいと考えています。



## 甘夏が自然に育つ環境作り

### ◎濱之上 京亮さん

(はまのうえん・鹿児島県阿久根市)

鹿児島県曾於郡大崎町出身の濱之上さんは中央



左から、かささ農藝舎の窪園 雅敬さん、はまのうえんの濱之上 京亮さんと梨瑚さん、かやのひめ自然農園の橋本 武志さん

大学経済学部在学中から音楽プロダクションに入社し、卒業後も音楽イベント運営準備からDJ、アーティストの通訳などを経験しました。自然豊かな神奈川県葉山近郊で暮らした時にオーガニックなライフスタイルを見聞きしたことで、実家で母が栽培した無農薬野菜を食べて育ったことへのありがたさに気づき、原発事故後2012年に鹿児島へ帰郷しました。農業を使わない果樹栽培をしたいと思いましたが周りには慣行農家しかなく、柑橘の慣行栽培のアルバイトをしていた頃、20年来の友人窪園さんを通じて長崎さんと知り合い、一年間ほど週一回訪問し研修を受け、その後もアルバイトとして柑橘に同梱するお手紙の制作などを手伝いながら自然農法を教わりました。

2018年に株式会社はしコーポレーションに入社。2020年に同社農業部で放棄地となっていた甘夏園を自然農法で栽培管理する機会に恵まれ、2022年在職中に有機JAS認証を取得。翌年同社協力の下、当該農園を濱之上さん個人の認証名義で引き継ぎ、営農を開始しました。入社後、また独立後も長崎さんに相談したり指導を受けたりしました。刈草を緑肥とし圃場には他に何も持ち込まず、甘夏が自然に育つ環境作りを大切にしています。

現在は祖母から受け継いだ家をDIYしながらパートナーの梨瑚さんと木成り甘夏を育てています。長崎さんからは長い期間出荷できるよう多品種栽培の方が良いと指導を受けました。自宅が完成したら圃場を広げて地域の特産品ボンタンや熱帯果樹なども取り組む予定です。



## 草を活かした不耕起栽培

### ◎橋本 武志さん

(かやのひめ自然農園・鹿児島県南さつま市笠沙町)

石川県小松市出身で富山県の園芸専門学校を卒業後、庭師として就職しました。ドイツでの庭修業や愛知で造園会社勤めの後、個人事業主として造園業を営み、深く植物と関わる中でお金を掛けて管理しなければ維持できない庭作りや人の家の庭しか環境

がよくならないことに疑問を感じていました。草花の庭を作り、雑草が生えない管理が楽になる庭作りができるようになったあとに見えたのが自然農法でした。環境に優しい農業、特に不耕起栽培がうまくいけば日本の野山の環境が良くなる確信。農家になる道を模索する中で鹿児島の人々と土地に出会い、造園業をたたくことで2023年に鹿児島県南さつま市笠沙町に移住しました。

自然農法オーガニック野菜委員会の1年間の研修中に長崎さんと出会い、農園の美しさと柑橘の美味しさに感動し、柑橘農家になることを決めました。2024年に就農。長崎さんと交流した期間は短かったですが、長崎さんが栽培していた圃場を借り受け、自然農法で引き継いでいます。古い木も多いため今後はスイートスプリングを増やそうと苗を植えています。

草を活かす不耕起栽培には庭師として体得した草花の知識が役立ち、農園の生物多様性が高まるよう夏草や冬草を意図的な草刈りで殖やし、夏草の裏作で刈り草をマルチとして不耕起でそら豆やにんにくなどの栽培を開始しました。在来種の多年草が多いほど環境が安定するので、この土地によく生える草と共生させようと試みています。初めて収穫するそら豆は天日干してオルターに出荷予定です。この栽培方法を継続して試していく中でこの土地でうまくいく方法を見つけたいと考えています。



## 多くの後継者が育ちました

今回ご紹介した3名の他にも鹿児島県肝属郡で辺塚だいだいを栽培する吉田有志さん(自然農園よしだ)も長崎さんの指導を仰ぎ、2021年からオルターに出荷しています。(食べもの百科④P38)

多くの若者に地球の生命環境と私達の生命を大切にする農業を伝えて下さった長崎 大海さん。後継となる生産者を多く育て、オルターで紹介し、旅立たれました。これまでの活動に感謝し、謹んでご冥福をお祈りします。

## 鹿児島生産者の柑橘

《かささ農藝舎》	自然農法	☆☆☆	
●品種	グレープフルーツ、はっさく、サワーポメロ、河内晩柑、スイートスプリング、かぼす、レモン		
●防除	なし	●施肥	なし
《はまのうえん》	自然農法	★★★	
●品種	甘夏、紅甘夏		

《かやのひめ自然農園》	自然農法	☆☆☆	
●品種	グレープフルーツ、ぼんかん、スイートスプリング、ぎんかん、シークワーサー		
●防除	なし	●施肥	なし